

NPO 法人 野生生物調査協会 第 20 回シンポジウム

■ テーマ： AI を始めとした最新の IT 技術の利用について

■ 日 時： 2025 年 12 月 5 日（金） 13 時 15 分～16 時 30 分

■ 場 所： 調布市文化会館 [たづくり] 8 階 映像シアター （裏面地図参照）
東京都調布市小島町 2 丁目 33-1 tel : 0424-41-6111

With Zoom ミーティング

■ 主 催： NPO 法人 野生生物調査協会 教育研修委員会

■ プログラム：

13:05 開場（受付）

13:15 シンポジウムの注意事項

13:20 開会／開会挨拶

13:25 協会活動紹介

13:40～16:10 講演（プログラム順序は変更する場合があります）

「野生生物調査における知能とは何か？」 水谷貴行（株式会社エコリス）（25 分）

「AI を用いた環境調査の事例～野生動物の画像判読～」 志田翔一郎（株式会社環境アセスメントセンター）（25 分）
～ 休憩 10 分程度 ～

「プログラミング不要！生成 AI に作ってもらう『野生生物調査の効率化ツール』」 印部善弘（株式会社地域環境計画）（25 分）

「海底動画を用いた海洋生物の検出事例と技術的課題」 菊田将平（株式会社サイエンスアンドテクノロジー）（25 分）
「鳥類音声の録音モニタリングについて」 阿子島大輔（株式会社環境指標生物）（25 分）

16:15 閉会／閉会挨拶／懇親会のご案内

16:30 閉場（完全撤去）

■ 申し込み方法 ■

必要事項を記入の上、12月3日（水）までに、各社教育研修委員、もしくは、下記宛先までお申し込み下さい。会場参加・Web 参加、及び懇親会参加をお知らせ下さい。

・ 宛先 <mailto:hase@npo-wildlife.com>

NPO 法人 野生生物調査協会 担当：長谷(はせ)

・ 記入事項：氏名、所属、連絡先（メールアドレス：Web 参加の場合資料送信のため）
表題「第 20 回シンポジウム 参加」

■ 懇親会：

終了後、懇親会を開催する予定です。（17:00～19:00） ※開店時間を再変更しました
場所： Torattoria Timo （地図参照） 調布市布田 3 丁目 17-8

参加費：会員外 一般 3,000 円 学生 無料

会員は後日会社に請求します。

※※ シンポジウムのみの参加は無料です。

シンポジウムプログラムの概要

※ オンライン講演

「野生生物調査における知能とは何か？」

水谷貴行（株式会社エコリス）

野生生物調査における「知能（インテリジェンス）」とは、現場で観察し、推論し、状況に応じて判断する力、そして計画立案から解析・報告に至るまで、情報を読み解き、知識を形成し、行動へとつなげていく知的営みの総体である。本発表では、この“インテリジェンス”的働きを捉え直し、AIや自動化が進む中で、どこまでが代替可能で、何が人に固有の知であるのかを考察する。

「AIを用いた環境調査の事例～野生動物の画像判読～」

志田翔一郎（株式会社 環境アセスメントセンター）

現在、全国的にニホンジカ等の獣害が問題となり、生息状況の確認調査等が継続的に行われている。糞粒法など既存の調査に加えて、AIによる画像判読による調査など、コストダウンが期待される方法も導入が検討されている。今回は、AIを用いた野生動物の画像判読結果を紹介する。

「プログラミング不要！生成AIに作ってもらう『野生生物調査の効率化ツール』」

印部善弘（株式会社地域環境計画）

プログラミング不要。生成AIに指示するだけで、データ集計や報告書作成など野生生物調査・事務作業を効率化する自作ツールの作り方を紹介する。

「海底動画を用いた海洋生物の検出事例と技術的課題」

菊田将平（株式会社サイエンスアンドテクノロジー）

一般に公開されている海底動画を用いた海洋生物の物体検出の事例と、そこから見えてきた技術的な課題について紹介します。

「鳥類音声の録音モニタリングについて」

阿子島大輔（株式会社環境指標生物）

実際に業務で行った、深層学習による画像判別によるフクロウの音声解析の紹介と、録音モニタリングの今後の展望について紹介する。

会場地図

